令和3年10月 定例教育委員会

日 時 令和3年10月20日（水）9時30分～

場 所 市役所3階第1委員会室

出席者

（教育委員）

西本教育長 内海教育長職務代理者 萩原委員 古賀委員 松野委員

（事務局）

山元教育総務部長兼新しい学校推進室長 松尾総務課長 杉本社会教育課長 嶋田スポーツ振興課長 副島総務課長補佐 陣内学校教育部長 高島学校教育部次長兼学校教育課長 有富学校保健課長

欠席者 なし

傍聴者 なし

内 容

(1)教育長報告

(2)令和3年8月分 議事録確認

(3)議 題

①佐世保市通学区域規則の一部改正の件

(4)協議事項

①「いのちを見つめる講演会」講師選定について

(5)報告事項

①令和3年9月定例会一般質問答弁について

②語らいの広場の開催について

③青少年育成懇談会の開催について

④少年の主張長崎県大会の結果について

⑤成人式について

⑥徳育推進フォーラムの放映について

⑦V・ファーレン長崎 佐世保市小学生応援事業について

⑧学校訪問計画（11月以降）について

(6)その他

①次回開催予定について

◆教育長報告

○ 9月22日 定例教育委員会

○ 9月24日 文教厚生委員会

○ 9月27日 心身協助成金寄贈式

- 9月28日 令和3年度地区別合同研修会教育長会
- 9月29日 中学校校長研修会
- 10月 2日 男女共同参画に関する作文表彰式
- 10月 5日 市中体駅伝競技視察
- 10月 6日 小佐々地区市政懇談会
- 10月 8日 鹿町地区市政懇談会
- 10月12日 早岐中学校地域未来塾開講式
- 10月13日 南地区市政懇談会
- 大崎分校・高島分校要望書受取り
- 10月14日 宮地区市政懇談会
- 10月15日 社会教育委員との意見交換会
- 世知原地区市政懇談会
- 10月16日 戦没者追悼式
- 10月18日 長崎県市町村教育委員会連合会第2回小委員会

【西本教育長】

10月の定例教育委員会を始めたいと思います。

先だって社会教育委員の皆さんとの交流の会議はお疲れさまでございました。その席には松野委員も初めて出ていただきましたが、改めて、今日正式に定例教育委員会に出ていただきましたので、松野委員から一言ご挨拶をと思っております。よろしくお願いいたします。

【松野委員】

改めまして、おはようございます。

初めての定例教育委員会ということで緊張しておりますけども、10月1日より前任の中島委員さんの残任期間を引き継ぐことになりました松野廣文と申します。

30年3月に宮中学校を退職した後、宮地区公民館のほうでお世話になっておりました。そういった面で、学校教育とは違う立場で、社会教育の立場でいろんなことを勉強させていただいたところです。それもありまして、今後はさらに、逆に言うと学校教育の現場を離れておりますので、一生懸命勉強いたしまして、佐世保の子供たちのために頑張りたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

【西本教育長】

松野先生におかれましては、中学校の校長会の会長もなさっていただいた経験もあられますので、この教育委員会についても、またこの立場でいろいろとご指導いただければと思います。よろしくお願いいたします。

先ほど職員の紹介がありましたけども、実は去年と今年と2年間、歓送迎会ができず、なかなかお話しする機会もなくて、顔だけは知っているけれども、どういう人となりかまだよく分からないという職員もおりますので、できれば近いうちに、もしレベルが1ぐらいになったときには、ぜひ開催して、改めて交流を深めたいと思いますので、その節にはどうぞよろしくお願いいたします。

それでは早速、内容に入ります。

教育長報告につきましては、先般の社会教育委員の会ということで、皆さん方と一緒に話をさせていただきまして、それほど大きな動きはあっておりませんが、コロナも随分収まってまいりました。おかげで、一人二人ぐらいで済んでおりますし、学校のほうも、しばらく学級閉鎖、学校閉鎖しないで済んでいるようでございますから、そういう意味ではこのまま収まってくればと思っているところです。

それでは、令和3年の8月分の議事録については、もう既にお手元のほうに届いているかと思えます。内容についてご異議ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

【全委員】

はい。

【西本教育長】

ありがとうございます。それでは、議事録の確認は済んだということで。

議事録はホームページに公開をさせていただいておりますので、確認が取れた後に、ホームページに掲載するというようにしております。

それでは早速、議題に入りたいと思います。

議題は、佐世保市通学区域規則の一部改正の件ということになっております。当局から説明をお願いします。

学校教育課長。

【高島学校教育部次長兼学校教育課長】

10月定例教育委員会議題資料①佐世保市通学区域規則の一部改正の件、ページ1からページ4の資料をご覧ください。

まず、議題1の1ページの前に、14ページ、一番最後になりますがご覧ください。

本議題につきまして、14ページにございますとおり、令和元年7月24日、教育委員会から、佐世保市通学区域審議会に諮問され、令和元年11月19日に答申を受けておりますものでございます。今回、佐世保市通学区域規則第2条第3項により、この答申内容を踏まえまして、本日、本件の一部改正案をご審議いただくものでございます。

1ページにお戻りください。

議題、佐世保市通学区域規則の一部改正の件についてでございます。

提案理由でございます。新町の設立に伴い、佐世保市通学区域の別表「佐世保市通学区域」（第2条関係）に新町（ひうみ町）を追加するため、本規則の一部を改正するものでございます。

提案理由は、この後説明いたします別表「佐世保市通学区域」（第2条関係）の大塔小学校及び日宇中学校の通学区域に「ひうみ町」を追加するものでございます。

附則として、施行期日について、この規則は令和3年12月1日から施行いたします。ページを1枚飛びまして、3ページをご覧ください。

本規則の一部改正の詳細についてご説明申し上げます。

今、提案理由で申しました別表「佐世保市通学区域」（第2条関係）の該当箇所に係る新旧対照表でございます。左側、改正前の別表に、区分の欄、小学校学校名の欄、大塔の通学区域、白岳町の一部の後ろに、右側の別表、同じ段に「ひうみ町」を追加しております。あわせまして、下段の中学校、日宇の通学区域欄の大岳台町の後ろに、右側の表で「ひうみ町」を追加しております。

資料4ページから10ページまでは現在の本規則です。後ほどご参照ください。

ページ飛びまして、11ページをお開きください。

11ページは、令和3年9月14日付佐世保市告示第309号、町の区域及び名称の変更についてにより、新たに画する町の名称と編入する区域を告示したものです。

効力する日は、令和3年12月1日となりますので、今回の本規則の一部改正による施行期日を令和3年12月1日としております。

12ページをお開きください。

これは、佐世保市町界町名審議会の資料を添付しております。以前、審議をいただきました「ひうみ」に関する資料でございます。白岳町、大塔町など五つの町の一部、26.7ヘクタールを開発対象としているものでございます。

13ページをご覧ください。

同じく佐世保市町界町名審議会の資料を添付しております。新たに対象とする地区につきましても、以前説明申し上げた地図でございます。

現在、この中で、左下、写りが悪いですがけれども、590区画を区画整理されているところです。現況といたしましては、令和3年12月までに30区画程度が建設、入居の予定となっております。

14ページは、先ほど申し上げました次第でございます。

以上、通学区域規則の一部改正の件についてご審議をお願いいたします。

以上です。

【西本教育長】

ただいま学校教育課から説明がありましたけれども、委員の皆様から何かご質疑等ございますでしょうか。

内海委員。

【内海教育長職務代理者】

もし数字が分かってたらですけど、おおむねどのくらいの小学校と中学校で児童数が増えるのかという、何かシミュレーションみたいなものがあれば。

【西本教育長】

学校教育課長。

【高島学校教育部次長兼学校教育課長】

まず小学校のほうから、2021年現在の児童数が492名ですが、このひうみ台を含めまして、推計で2029年、8年後に877名に増加すると。合計ですけども、生徒数がこの学校は増えるというふうに見込まれております。

日宇中学校です。2021年、現在が568名。推計で、2035年837名の予定で推計をされております。

以上です。

【西本教育長】

よろしいですか。

【内海教育長職務代理者】

はい。ありがとうございました。

【西本教育長】

萩原委員。

【萩原委員】

校舎とかそういうのは大丈夫なんですか。

【西本教育長】

総務課長。

【松尾総務課長】

高島次長のほうから案内がありました児童数増加見込みを校舎に当てはめまして、8教室が令和9年時点で不足するというシミュレーションを立てています。これは35人学級移行も含めた分でございます。令和5年、再来年に新しい校舎を建設する計画で今進めております。

【西本教育長】

よろしいですか。

【萩原委員】

はい。

【西本教育長】

松野委員。

【松野委員】

これまでもご検討があったと思うんですけども、実際に通学路に関しては、いわゆる答申のほうにも、安全性確保については今後も関係機関ということであるんですが、大塔小学校はどんな形の通学路になるのか。そして、中学校は通学路はありませんけれども、こういったルートを通して中学校へ登校するのか。その辺はどうでしょうか。

【西本教育長】

学校保健課長。

【有富学校保健課長】

通学路につきましては、エディオン側のほうに道ができようかと思えますけれども、ここに信号機、横断歩道の設定がされます。一つはそちらに渡るという方法もあるんですけども、基本は35号線沿いに、ベスト電器のほうへ下りまして、そこで市道の脇坂の交差点のところを渡りまして、陸橋で既存の通学路に接するような形になりますので、歩道橋を渡って、大塔小学校のほうへ行くというようなことを想定しております。

その際につきましては、学校とも協議した上で、例えば、見守り隊に交差点のところのベスト電器側のほうに立っていただくなど、あそこは、35号線が右折は専用の信号になっておりますので、右折の心配はございませんで、早岐方面からの左折が通学ときには課題になってまいりますので、そのところの朝の見守り隊などを学校のほうと協議していきたいと考えているところでございます。

【松野委員】

中学生もそのルートを通っていくという形ですか、日宇中学校。

【有富学校保健課長】

中学校は通学路の設定そのものがないので、具体的な検討というのはまだしてないんですけども、先ほどのエディオンのところを渡りまして、沿っていくような形かと。

【西本教育長】

あそこは渡った先に歩道がなかったですよ。ハードオフのところの向こう側の国道は。だから、そのまま下りて行って。左にずっと下りていくと歩道があって、日宇支所の前というか、大和寿司の前を渡れば、そのまま上っていくということになると思う。

学校保健課長。

【有富学校保健課長】

現在ニトリの裏に住宅がある生徒を例に申し上げますと、ニトリのほうに下りまして、そのニトリとスバルの間に陸橋がございます、歩道橋ですね。そこをスバル側に渡り、そのままの日宇バイパスを、日宇小側じゃないほうに下っていきまして、途中から歩道

の階段がございますので、そこから旧道のほうに下りて通学しているのが実態としてございます。ちょっと細い道なんですけども。

【内海教育長職務代理者】

線路のほうに下りていく階段ですかね。

【西本教育長】

踏切を渡らないとですね。

【有富学校保健課長】

そうですね、そういったルートもございますし、ただ、コモンライフ日宇ヶ丘の中を
通って、一旦旧道のほうに下りる方法と幾つかされて中学生は通学しているというふう
な状況でございます。

【松野委員】

ありがとうございます。

【西本教育長】

よろしいですか。ほかにございませんでしょうか。

これのちょっと心配なのは、おっしゃったスシローのところからベスト電器に渡ると
ころの横断歩道ですよね。右折で急いで渡ろうとする車とか、左折する車とか、いわゆ
る卸団地のほうに上っていこうとする車がちょっと心配かなという気がします。信号が
点滅しだすと慌てますよね。急いで曲がろうとして。そういうところがちょっと気にな
るなという。本当は歩道橋を造っていただければ一番よかったですけど、そこまでは
なかなかできなかったのかなと。

学校保健課長。

【有富学校保健課長】

歩道橋につきましても道路部門の土木部とお話をしておりますけれども、現在バリア
フリーになる歩道橋がどうしても必要となりますが、スシロー側のほうに道がございま
せん。確かに大塔小ができたときには大きな歩道橋を造っております。それは自転車等
が上れるようにしています。当時はそういうレベルでよかったんですけれども、やはり
今は車椅子とかそういうのに対応した歩道橋がどうしても必要ということで、土木のほ
うでも現在は歩道橋は、新設ではなくて、どちらかというところ撤去の方向で進んでいると
いうような現状の中で、建設する場所の用地の面からもなかなか実現は難しいと。架け
るのは、国道に対して市道が入ってきておりますので、市道側に架けることとなります。
土木のほうと話したところ、そういった回答でございました。

【西本教育長】

ほかにございませんでしょうか。よろしゅうございますか。
内海教育長職務代理者。

【内海教育長職務代理者】

人が増える話なんですけど、新しく市外から来る人というよりも、佐世保市内の人たちが移動して、どこかが減ってくるのかなと思いついて聞いてました。

【西本教育長】

そうですね。全部よそから来れば言うことないんでしょうけど、井が大体一つなので、どこかが減ってくるのかなという感じがしますね。300人ぐらい移動があると。

ほかになれば、この議題については改正の件ですけれども、決を採りたいと思いません。改正してよろしゅうございますでしょうか。

【全委員】

はい。

【西本教育長】

では、そのように決したいと思えます。よろしくお願ひいたします。
次、協議事項です。

「いのちを見つめる講演会」講師選定については、前回ちょっとやりましたけれども、最終的に決めるということになっておるようでございます。

学校教育課長。

【高島学校教育部次長兼学校教育課長】

協議事項、いのちを見つめる講演会の資料をご覧ください。1ページから5ページまでございますが、まず、1ページをご覧ください。

本件につきましては、前回9月22日定例教育委員会にてご協議をいただき、そこにあります3名の方を候補としていただきました。

前回、この候補の講師のうち、3の表の1にございます辻井いつ子氏の令和4年講演予定の中で、させぼ夢大学様の講演予定がございましたが、させぼ夢大学事務局から令和4年度の講演講師としては見送るという確認が取れましたので、改めて令和4年度の講師選定のリストとしてご案内し、ご協議をいただくものでございます。

あとの資料は変更ございません。

以上でございます。

【西本教育長】

せんだつては、辻井いつ子さんについて萩原委員からお話がありました。

【萩原委員】

私の情報でしたが、先月の会議の時には辻井さんが、来年の夢大学の講師の一人として選ばれておりました。しかし、その後、諸事情がありまして、検討の結果、来年の講師から辻井さんがはずれましたので、こちらの候補に入れていただいて差し支えないと思います。

【西本教育長】

ということで前回、そういうことも踏まえてということでお話をさせていただいたんですが、ちょっと条件が変わりましたので再度お諮りして、最終的に講師の方を決定したいと思っております。第1候補、第2候補、第3候補ということになりますが、第1候補の方をまず選んでいただこうかなと思っておりますが、委員の皆さんからご意見をお聞かせさせていただければと思います。

「いのちを見つめる講演会」という一つの目的がございますので、そういったことも含めて、念頭に置かれてお選びいただければというふうに思いますが、一人ずつご意見聞いてよろしいでしょうか。

じゃあ、内海職務代理者から。

【内海教育長職務代理者】

夢大学でそういうことであれば、辻井さんが、今までここ数年ずっと候補に挙がっておられましたし、集客力も上がるんじゃないかなと思います。辻井さんにできればなどは思います。

以上です。

【萩原委員】

私は、奥山佳恵さんという方がどういう方かよく存じ上げないんですが、ダウン症の障害を持った子供の子育てをしているということで非常に興味があるんですが、辻井さんのほうが集客力というか、それこそたくさんの方が見えてくださるであれば、辻井さんがいいと思います。

奥山さんにも興味がありますので、また来年という形でも構わないと思います。

【西本教育長】

古賀委員さん、いかがですか。

【古賀委員】

辻井さんで予算が合えばいいかなと思います。

【西本教育長】

松野委員さん、いかがですか。

【松野委員】

私はこの資料を頂いた後でそれぞれ3人の方をネットで少し調べてみてはいたんですけど、確かに言われたように、辻井さんのほうが一番集客力という点では強いのかなという部分と、夢大学とのそういったやり取りもあったということで含めていけば。私は大島さんもいいのかなと思ってはいたんですけども、そういった状況であるならば、辻井さんの方向性でいいのかなと思っております。

【西本教育長】

今、全ての委員さんが辻井さんということでございますので、私としても尊重いたしまして、辻井さんということに決定したいと思いますが、よろしゅうございますか。

【全委員】

はい。

【西本教育長】

そうしますと、第2候補は。辻井さんがもし駄目なときはどんなしますかねという話になりますと、いかがですか。

【萩原委員】

奥山さん。

【松野委員】

私は、大島さんが。

【内海教育長職務代理者】

奥山さんで。

【西本教育長】

古賀委員、いかがですか。

【古賀委員】

どちらでも。

【西本教育長】

なかなかもう坂本九さんは保護者の方も分からなくなってきましたからね。

【内海教育長職務代理者】

我々世代ですもんね。

【萩原委員】

辻井さんは料金が大幅上がって。この前の資料だったら60何万円だったけど、80何万円になってますね。

【西本教育長】

今の流れで行きますと、1、2、3と振ってありますが、その流れでよろしいですかね。

【全委員】

はい。

【西本教育長】

学校教育課長、今、第1候補に辻井さん、第2候補に奥山さん、第3候補に大島さんということになりましたが、事務局としてはそれでよろしいですか。

【高島学校教育部次長兼学校教育課長】

はい。その形でアポイントを取りながら進めてさせていただきたいと存じます。

【西本教育長】

よろしくお願いします。

【西本教育長】

それでは、この件については先ほどの順番ということで決したいと思います。ありがとうございました。

それでは、報告事項に入ります。報告事項は8件ございます。

まず、①令和3年9月定例会の一般質問答弁についてということでございます。事務局は何か説明ありますでしょうか。

【山元教育総務部長兼新しい学校推進室長】

事前に送っていたかと思いますが、表紙を開いていただいて、報告事項①です。7人の議員さんから質問がっております。

まず1番、松尾議員が、特別教室の空調機器についてということで、主に音楽室につけてほしいということでした。

田山議員が、子供たちの暮らしと学びを守る取組についてということで、今コロナ禍の中で、まずコロナの感染の予防であったり、学校に出てこれなくなったときの対応、

そういったご質問でございました。

崎山議員からは、先般の千葉県の通学時の交通事故を受けての通学路の安全点検というご質問です。

鶴議員は、これ1人1台パソコンの活用関係で、感染対策と絡めてICT活用をどう考えているかというご質問でございます。

5番の宮田議員、これもコロナの感染対策というご質問でございます。

6番目、草津議員から、今、教科担任制ということが話題になっておりますけども、これについての佐世保市の取組ということでご質問がっております。

そして7番目、小野原議員は、日野小学校で今建て替え工事をやっております。地域の方で、ごく何人かの方なんですけど、アスベストの知識があられる方がいらっしやって、その方からの流れで小野原議員がアスベスト関連のご質問をされているということです。以前も小野原議員におかれましてはアスベスト関連の質問をされていますが、その流れということです。いよいよ夏休み中に工事に入ったものですから、少しくローズアップされたところがありまして、9月議会で質問をされたという流れでございます。

資料につきましては、事前にお配りしておりましたので、詳しい中身は割愛させていただきます。

以上でございます。

【西本教育長】

ありがとうございます。今、一般質問について概略説明がありました。いずれも前向きなご質問だったかなというふうに思います。子供たちの教育に軸足を置いた質問でしたし、中にはありがたい質問ということもございました。いずれも対応をしなければならぬ重要な質問でございますので、そういった点については、できるところは対応していきたいというふうに答えております。

特に空調設備ですが、音楽室に限らず理科室もありますね。これについては、学校訪問のときにお分かりいただいていることだと思います。これはどうしてもやらなければならない、やり残した仕事とっておりますので、予算がつき次第、補助がつき次第、随時順番を追ってやっていこうと考えております。

それから、ICTの活用です。これも前年度に全て1人1台端末が整備されておりますので、これを学校現場でどう使っていくかというふうなことが当面の課題になっております。今、中里中学校あたりをモデル校にして取り組んでいただいております。機会があれば、後ほど出てきますけれども、学校訪問が今のところなかなかできない状況にありますけど、これが一段落してできるような状態になれば、ぜひ見ていただけるような状況をつくっていきたくと思います。今、本当に現場は大変ですけれども取り組んでいただいているということを知っておりますので、そういった中で改めてどこかの場面でご説明するところがあればと思っております。

この件について、委員の皆さんからご質疑等ございますでしょうか。よろしゅうございますか。

【全委員】

ありません。

【西本教育長】

ありがとうございます。

それでは、②語らいの広場の開催についてということでございます。事務局から説明
お願いいたします。

社会教育課長。

【杉本社会教育課長】

資料は20ページをお願いいたします。市PTA連合会との共催事業として開催しま
す語らいの広場についてお知らせいたします。

毎年、市P連との共催事業として、6月に市のPTA研修会、それから10月に、家
庭教育に関して語り合う語らいの広場を開催しておりますが、昨年度は全てコロナの影
響を受けまして中止となりました。今年度も6月開催予定だった市のPTA研修会につ
いては、来年2月へと延期をしております。

今回の語らいの広場につきましても、当初10月23日、今週土曜日に開催予定とし
ておりましたが、PTA及び学校関係者への周知広報を実施します9月上旬の段階で感
染レベルがまだ高かったことから、集合形式、かつワークショップ形式での開催は断念
いたしました。しかしながら、今やれることということで、市P連と協議を重ねまして、
今回は各単位PTAにおいて、ユーチューブに限定公開された講演の動画、録画の動画
を視聴し研修を行うという形の開催を決定いたしました。

実際、単Pにおける活動がほとんど行われていないという状況や、また、PTAによ
って状況は異なりますので、研修日を設定するか、もしくは個人で視聴するなど、その
視聴の期日や方法、参加人数は各単Pにおいて設定していただくこととしております。

研修期間は、資料5番目に書いておりますとおり、11月1日から22日までとしま
して、単Pごとに視聴終了後のアンケートを実施しまして、その結果をもって研修実施
を確認することとしております。

今回は、長崎県更生保護女性連盟会長の浦川末子様を講師としてお迎えしまして、「親
として今最も大事なこと」をテーマにお話しいただきます。撮影は、もともと開催予定
でありました今週土曜日に、清水地区コミュニティセンター講堂において、市P連の西
部ブロック、その他の社会教育課の担当で行うこととしております。

教育委員の皆様にも準備が整い次第、ユーチューブの限定公開の視聴先をお知らせい
たしますので、ぜひご視聴いただければと思います。

以上でございます。

【西本教育長】

ただいま説明ありました限定公開ということですので、それぞれにパスワードという
か、お配りいただいて、ご視聴をぜひお願いしたいと思います。

これについては委員の皆様から何かご質問等ございますでしょうか。

いつもは午前中くらいにやってたんですね。

【杉本社会教育課長】

そうですね。午前中でワークショップを、ながさきファミリープログラムのファシリ
テーターの方に来ていただいたりしながら開催しているんですけど、なかなかそういう
形式は今難しいということで、今回は初めてユーチューブでの限定公開という形で開催
することにしました。

【西本教育長】

ウィズコロナということだと、当面こういうやり方をしないといけないのかなと思
います。

よろしゅうございますでしょうか。

【全委員】

はい。

【西本教育長】

ありがとうございます。

それでは、3番目です。青少年育成懇談会の開催についてということです。説明お願
いいたします。

社会教育課長。

【杉本社会教育課長】

資料は21ページをお願いいたします。佐世保市青少年育成連盟との共催で開催しま
す青少年育成懇談会についてお知らせいたします。

タイトルの副題にもありますように、たくましく、心やさしい佐世保っ子を育成して
いく基盤づくりのために開催する研修会として、あわせて、子供たちの心の根っこを育
てるために、大人の在り方を見直し、みんなで子供を育てようとする県民運動でありま
す「ココロねっこ運動」の研修会としての役割も持った会となります。

開催については、コロナ禍の影響もありましたが、参加者を例年の半分、それから各
学校から1名参画とすること、そしてご案内する時期が、9月25日にレベルが下が
りましたので、10月30日10時から予定どおり清水地区コミュニティセンター講堂で
開催する予定としております。

懇談会のメインとしまして、今回は長崎大学教育学研究科の非常勤講師であり、本県
における社会教育の第一人者であります江頭明文先生に「地域をつくり 人を育む～生

涯学習・社会教育の現場～」という演題でご講演いただくこととしております。

感染予防の観点からも参加者を限定しておりますので、教育委員の皆様には御来賓としてのご案内はいたしません。講演をお聞きになられたいときにはお知らせいただければと思います。

以上でございます。

【西本教育長】

ありがとうございます。それぞれの団体のお考えもあらわれるんでしょうけれど、似たような日にちに、片やYouTube、片や対面、リアルという。それぞれの団体の考えかなという感じがしますが、人数的にはどっちが多いですか。

社会教育課長。

【杉本社会教育課長】

語らいの広場のほうが人数は多いのと、対面式だということが大きく違います。この懇談会のほうは講演形式で、教室形式で座っておりますので、声を発することが基本的にないということになります。通常は倍の人数だったんですが、今回は半分に限定するというので。それと、ご案内の時期が若干遅くて、ぎりぎりレベルが下がったときでありましたので、ここについては開催に踏み切ろうということでも連盟のほうが発信しております。

【西本教育長】

ちょうど今難しい。上手にするべきか、もういいかなとかいうところで悩みますね。

これについて委員の皆さんから何かご質問等ございますか。よろしいですか。

【全委員】

ありません。

【西本教育長】

ありがとうございます。

次です。4番目、少年の主張長崎県大会の結果についてということでございます。

社会教育課長。

【杉本社会教育課長】

資料は22ページをお願いいたします。今年度の少年の主張長崎県大会の結果についてお知らせいたします。

8月25日に、本来であれば長崎市において関係者のみの無観客開催予定でありましたが、コロナの影響を受けまして、各発表者の動画での審査に変更の上、開催されております。

本市からは2名が出場されまして、資料に記載のとおり、山澄中学校3年の武田かのかさんが優秀賞のNHK賞、それから、早岐中学校3年岡徠華さんが優秀賞、ココロねっこ賞を受賞されましたので報告いたします。

来年度の県大会は佐世保市開催の予定となっております。

以上でございます。

【西本教育長】

ありがとうございました。なかなか佐世保市の中学生も健闘したなという感じで、上位に食い込んでよかったなと思っています。

これについて委員の皆様から何かご質問ありますでしょうか。よろしいですか。

【全委員】

ありません。

【西本教育長】

ありがとうございます。

次、5番目です、成人式について。これは当日配付資料のほうをご覧いただきたいと思います。説明お願いいたします。

社会教育課長。

【杉本社会教育課長】

資料は、当日配付資料1ページをお願いいたします。

ご存じのとおり、例年、成人式典はアルカスSASEBO大ホールで開催しておりますが、今年度、来年1月9日日曜日開催予定の場所を、現在ハウステンボスとすることで検討を進めておりますので、その状況についてご報告いたします。

以前からハウステンボスを会場にできないかというお声が出ていたものの、園への入場料を含めた予算や交通アクセス等の点から、なかなか実現が難しいとしておりました。ところが、今年6月にハウステンボス様から、2022年に開設30周年を迎えるということで、佐世保市民の皆様へ感謝の気持ちを伝えるような、地元へ立ち返った事業展開をしたいとお話がありまして、その一つとして、今後よりよい人生の節目となる成人式をぜひハウステンボスで開催していただけないかとご提案がございました。

そこで、8月に今年度の成人式典検討会が発足した後、一番大切なのは新成人の皆さんがどう思われるかと思われましたので、検討会で開催場所についてご検討いただきまして、検討の結果、検討委員の皆さんとしてもハウステンボスを希望したいとの結論が出されたことから、現在開催に向けて検討を進めているところでございます。

資料の真ん中のほうに記載しておりますとおり、新成人の皆様のご意見としては、賛成意見として、佐世保らしい場所で、思い出が詰まった場所だからということや、今回初めてリモート参加いただいているんですが、現在大阪在住の佐世保市出身の学生さん

が、佐世保のPRにつながって、佐世保に住みたいと思う人が増えるんじゃないかというご意見もございました。

一方で、懸念としては、やはり移動距離がありますので移動時間やその方法、それから、女性は着つけがございますので、今でも朝6時ぐらいからしているところを、それより早くする必要はあるんじゃないかと、そういうふうなご心配がありました。この懸念事項につきましては、ハウステンボス様をはじめ、交通事業者等とも協議を始めたところでございます。

当日の式典内容については、これから詳細を決めることとなりますが、資料3、式典具体案に書いてありますとおり、1月9日日曜日、時間帯は検討中でございます。

場所は、ウインズ佐世保の中のゲルックホール、1,600名の収容予定のホールとなっております。

成人対象者は当日入場無料としていただく予定で、このほか、アトラクションを含め、ハウステンボスらしさを出した内容で検討中でございます。

交通関係につきましては、ハウステンボス所有の無料の臨時バスやJR臨時便等が対応できないかを含めて、現在検討しております。

なお、開催に向けた今後のスケジュールとしましては、来週26日火曜日に、議会の文教厚生委員会協議会で説明をいたしまして、その後、美容協会をはじめとした関係者へ説明をいたします。

もろもろの検討の結果、11月上旬に開催場所を決定する予定としておりまして、正式には、11月の定例記者会見、現在のところ11月22日の開催予定ですが、そこで朝長市長から正式発表の予定としております。その後、12月上旬に新成人の皆様へ式典案内のはがきを送付いたします。

新型コロナウイルス感染症の第6波の影響も心配な声も聞こえますけれども、新成人の皆さんの一生に一度の記念となる日を市民全体でお祝いできるように、鋭意開催に向けて準備を進めたいと思います。

以上でございます。

【西本教育長】

ただいま説明がありましたけれども、委員の皆様から何かご質問、ご懸念等ございましたらおしゃっていただければと思います。

松野委員。

【松野委員】

今年も東部地区の自治協議会とハウステンボス側との意見交換があったとき、ハウステンボスさんのほうも30周年に力を入れて、地元の方々にこれまでのお礼をしたいということの気持ち的なものがあったものですから、やっぱりこういった企画というのは前向きに捉えてしっかりやると、先ほどもありましたように地元のPRになるのかなと思います。

【西本教育長】

ありがとうございます。

【萩原委員】

毎年、小柳賞ロードレースと重複してたんですけど、今年はどうなってるんですかね。

【西本教育長】

スポーツ振興課長。

【嶋田スポーツ振興課長】

現在、協議を進めているんですけど、実行委員会を今月頭から開催いたしまして、また第6波が来るかもしれないと言われている状況もございます。当日の競技運営は、佐世保市の陸上競技協会の方が主にやられるんですけど、やはり小柳賞の参加者は約1,800人弱いるんですが、1,100人以上の7割ぐらいは小中学生がほとんどですので、もしそこで感染者が出て学校に広がったらなかなか厳しいねということ。あとは、12月から1月にかけて、近隣であるロードレース大会がほとんど中止の判断をされています。それで、小柳賞も今年のリアル大会としては今難しいんじゃないかと。

その代わりに、2年連続中止となると寂しいものがございますので、今年はオンライン大会を。1月9日から2週間設けるんですけど、その期間に、自分が好きに目標を設定した距離をその期間に走っていただくオンライン大会ということでやろうかと今、計画をしているところです。ですから、1月9日なんですけども、リアルは今回厳しいかなと思いますので、ぶつからないという感じです。

【萩原委員】

ないわけですね。分かりました。

【西本教育長】

あとはやっぱり移動手段ですよ、一番心配なのは。シャトルバスでどれだけの人が運べるか、臨時バスを金を出してするか。あと、北部の方々とかですね。そういった方々をどう向こうに運ぶかというような、そういったところが懸念材料としてありますので、そこをクリアしながらですね。今回、向こうからの持込み企画でもありますから。よそから来られる方も少しは増えるかなというふうな気がしております。

実験的な試みかもしれませんが、そういう方向で進めていきたいと思いますが、よろしゅうございますでしょうか。

古賀委員。

【古賀委員】

これが無事大成功に終わったら、毎年開催の可能性はありますか。

【西本教育長】

社会教育課長。

【杉本社会教育課長】

毎年式典のときにアンケートを取っておりますので、新成人の皆様がどう感じなのかもありますが、ハウステンボス様と今後のことについても、予算面も含めて協議はすることとしております。

【古賀委員】

ハウステンボスは夢の国という子が多くて、すごく憧れの場所みたいなので、ぜひお願いします。

【西本教育長】

定着化できるかですね。今回やってみて、どういうふうになるかしないかが出てくるかなと思います。着替えて、また今度は街に繰り出すという飲食業の方の期待もあるので、あそこで完結してもらおうと困るなということもあるしれないかなというのがあって。

これ、開催の時間は午前中だったですね。

【杉本社会教育課長】

開催は午後の時間となっております。

【西本教育長】

晴れ着のままというわけじゃないので、一旦戻られるかなという気はします。残られる方もいるかもしれない。ちょっと今回やってみて、どういう状況か見てみたいところですよ。ありがとうございます。

それでは、成人式はよろしいですね。

【全委員】

はい。

【西本教育長】

次です。6番目の徳育推進フォーラムの講演についてということで説明させていただきます。

社会教育課長。

【杉本社会教育課長】

資料は23ページをお願いいたします。

8月の定例教育委員会において、内容についてはご説明させていただきましたが、テレビ放映の日時が決定いたしましたのでお知らせいたします。

放映日は、今月31日日曜日、8時から9時、TVSテレビ佐世保において放映となります。再放送は、その後、1日月曜の夜中の2時以降、記載のとおり6回放映となっております。

今回は、徳育推進のまちづくり宣言から10年目ということで、「徳育運動の今」をテーマに、一徳運動活動状況の紹介があり、部会の活動状況が見えますので、親しみやすい内容になるのではないかと考えております。

また、10月9日から昨日19日までは徳育旬間で行いましたので、すこやかプラザの連絡通路において、今年初めて、徳育旬間のパネル展を開催いたしました。

すぐに結果が見えるものではないんですが、広報させばに寄せられる市民の皆様のご意見においても、徳育通信について、「楽しみです」とか「読んだ後、ほんわかした気持ちになって心が洗われるようです」というようなご意見が毎月のように届いておりますので、引き続き、徳育推進会議との協働によって市民の皆さんと一緒に地道な取組を継続していきたいと考えています。

以上でございます。

【西本教育長】

ありがとうございます。これについて、委員の皆様から何かご質疑等ございますでしょうか。

衆議院選挙の日の31日は微妙ですよ。じっくり見ていただくために。あちこち見られたらあれやけんね。再放送がありますから。

【杉本社会教育課長】

6回ございますので。

【西本教育長】

よろしいですか。

【全委員】

ありません。

【西本教育長】

ありがとうございます。

次、7番目です。V・ファーレン長崎の佐世保市の小学校の応援事業ということでございます。当日配付資料をご覧くださいと思います。

スポーツ振興課長。

【嶋田スポーツ振興課長】

当日配付資料の2ページをお開きください。

先週16日土曜日に、今年のV・ファーレン長崎小学生応援事業を実施いたしました。その報告でございます。

この事業は、平成30年からやっております、今年で4回目になります。当日は11時に新みなと暫定広場を出発いたしまして、2時からアルビレックス新潟戦を応援したところです。

6番の実績のところに書いておりますが、当日参加者が167名です。当日キャンセルが13名ほど出ましたが、定員としてはバス8台180名を予定して実施をいたしました。実際、応募が280名ぐらいありまして、100名の方には抽せんでお断りをしたところでございます。

当日、先制はされたんですけど、何とか追いつきまして引き分けで終わって、負けなくてよかったなというところがあります。

当日、小学生応援事業と同時に開催したのが、2番の実施内容の「また」というところを書いてあるんですけど、V・ファーレン長崎が県内21市町に対して、サンクスマッチというのをやっております。その日にそれぞれの市町のPRをスタジアムでもらって構いませんということで、佐世保市もこの日、同日にサンクスマッチを実施いたしました。時津町と同時参加でした。

その中では、今回市長は公務の都合でこちらに見えることできませんでしたので、市長からの挨拶を事前に撮ってスタジアムのビジョンで流したり、写真に佐世保市旗がございまして、市旗を持って選手と一緒に入場をすとか。これには当日応募された小学生から抽せんいたしまして、4名の小学3年生、1年生の子たちで、取りあえず旗を持って立つのでお父さんたちにも協力してもらって、一緒に入場して、選手たちに写真も撮ってもらったところです。お父さんたちから、こんな経験はめったになかったので非常に、子供よりもお父さんがですね。あとは特産品のPRということで、佐世保バーガーのはな一さんにご出店いただきまして、600か800個なんですけど、全部ハンバーガーは完売したということで大変喜ばれておりました。あとは、物産振興協会の方にも当日ブースを出してもらって、佐世保の特産品の販売をしてもらったりとかというのをやっております。

以上でございます。

【西本教育長】

これにつきまして、委員の皆様からご質疑等ございますでしょうか。

これで今年は終わりですかね。

スポーツ振興課長。

【嶋田スポーツ振興課長】

V・ファーレンの分は終わりなんですけど、長崎ヴェルカのバスケットボールの分が、今、B3からスタートして開幕6連勝しているんですけど、佐世保では11月13、14日に、佐世保で初めてのホームゲームがあり、年度内にあと二、三回計画されてます。ですので、佐世保の体育文化館であるときに、この事業の中でバスケットボールを若干考えておりますから、またヴェルカのほうと相談をいたしまして、年明けの2月ぐらいのタイミングになると思うんですけど、こういったサッカーと同じような応援企画を考えていこうと思っています。

【西本教育長】

ありがとうございます。

これにつきまして何かございませんでしょうか。よろしゅうございますでしょうか。

【全委員】

ありません。

【西本教育長】

ありがとうございます。

次です。⑧、最後になりましたが、学校訪問計画（11月以降）についてということでございます。これも当日配付資料で説明をお願いいたします。

学校教育課長。

【高島学校教育部次長兼学校教育課長】

当日配付資料、引き続き資料3ページをご覧ください。

8月の定例教育委員会でお知らせしましたとおり、本年度9月、10月の学校訪問計画につきましては、教育委員の皆様におかれまして、SA訪問、A訪問については全て中止としておりました。11月以降の訪問につきましては、通常のSA、A訪問は、当初計画の段階からございませんでしたので、そのご案内はございません。

ただし、記載のとおり、佐世保市教育委員会指定の研究発表指定校の発表が2本ございますのでご案内申し上げます。

1つ目が、3ページにございます大塔小学校研究発表でございます。

当学校は研究主題として「自分らしく根拠を持って表現できる子供の育成、学級の力を土台として学び合いのある算数科を通して」と設定し、学習指導要領にある主体的・対話的で深い学びの視点から、授業改善に昨年、本年と2か年研究に取り組んでおり、その研究の一端を発表いたします。

期日は、一番下に記載の11月12日金曜日、大塔小学校にて行われます。

4ページに主な日程、内容等を記載しております。教育委員のご臨席の部分につきましては、後日、事務局から確認をさせていただきます。

5 ページをご覧ください。2 本目が世知原中学校研究発表のご案内です。

同じく令和2年、3年度2か年の長崎県教育委員会及び佐世保市教育委員会の指定の研究でございます。ふるさとの新たな魅力を創出するキャリア教育実践事業について研究し、起業体験学習や授業改善に取り組んでおり、その研究の一端を発表いたします。

期日は、下段に記載の11月26日金曜日、世知原中学校にて行われます。

6 ページに主な日程、内容を記載しております。教育委員のご臨席の部分につきましては、同じく後日、事務局よりご確認をさせていただきます。

以上2件、11月以降の学校訪問としてご案内いたします。

【西本教育長】

ただいまの説明について、委員の皆様から何かご質問、ご質疑等ございますでしょうか。

今コロナで、学校訪問もですが、今が踏ん張りどころかなと思って中止をさせていただいております。そういった意味では、この研究指定の部分のところの実践事業等について、もしお時間が許されればご参加をお願いしたいと思っております。

ほかにございませんでしょうか。よろしいですか。

【全委員】

ありません。

【西本教育長】

それでは、以上で報告事項は全てが終わりました。

全体を通して何か委員さんのほうからお話があれば出していただければと思いますが、よろしいですね。

【全委員】

ありません。

その後、次回開催予定日を確認し、終了となった。

----- 了 -----